

伊万里 秘窯の里・大川内山

みて歩き

鍋島藩窯跡国の史跡指定



- ### 大川内山の行事
- 磁器ひいなまつり (2月～3月上旬)
 - 春の窯元市 (4月1日～5日)
掘り出しものや色々な焼物がいっぱい買えます。
 - 風鈴まつり (6月～8月)
※ボン灯ろうまつり 7月中旬
 - 鍋島藩窯秋まつり (11月1日～5日)
窯元市も同時開催

みて歩きのエチケット三ヶ条

- 一、大川内山は生活の場が多くありますので、大声を出したり、民家をのぞくのは、やめましょう。
- 二、花や草木を折らないで、自然を大切にしましょう。
- 三、道路が狭いので、車は駐車場へ停めましょう。

☕には喫茶店があります。

日峯さん
鍋島藩主を祀っている

愛宕神社
(火の神様)

光山窯

大五郎窯

陶芸館伊万里

大五窯

清源窯跡

休憩所
トイレ・茶会用の和室がある

出水観音
大壁画

展望広場と展望台

陶工の家
色々な展示物がある

東屋

トバイ橋

紅葉スポット
御細工場

お経石窯跡

ポケットエリア

細工屋敷跡
藩室時代の跡で公園内に復元されている

藩役宅跡
藩室時代に役人の屋敷のあったところ

長春窯

瀬兵 新風

天神橋

登り窯

焼物広場
陶片やピンコロ石、タイルを使った楽しい広場

奇岩壁の下に野仏さまがたくさんある

権現岳神社

清正公堂

岳山窯

瀬兵陶管

三宅窯

藤右門窯

伊万里銅島焼会館

伊万里・有田焼伝統産業会館

陶房大林

泰仙窯

富永窯

青山窯

螺山窯

伊万里陶苑

陶咲花窯

玄太夫窯

寛右門窯

翠山窯

御庭焼窯

畑萬陶苑

伊万里陶苑

伊万里銅島焼会館

伊万里銅島焼会館

登窯跡

是隆窯

副島勇七碑

せいら

太一郎窯

杏土窯

伊万里銅島焼会館

大型バス駐車場

WC

休憩所

バス停

伊勢越碑

伊勢越碑

冬山窯

旧関所跡

魯山窯

巒山窯

大秀窯

関所

陶工の墓
880余の無縁の陶工達の墓です

めおとしの塔
陶工橋を渡ると澄んだ音が聞こえてくる!!

唐臼小屋
藩室時代より陶石を細かく砕くため水の力を利用した大型の臼で実際に大きな音を立てて動いています

紅葉スポット
陶工橋

武雄

高麗人の墓

林道

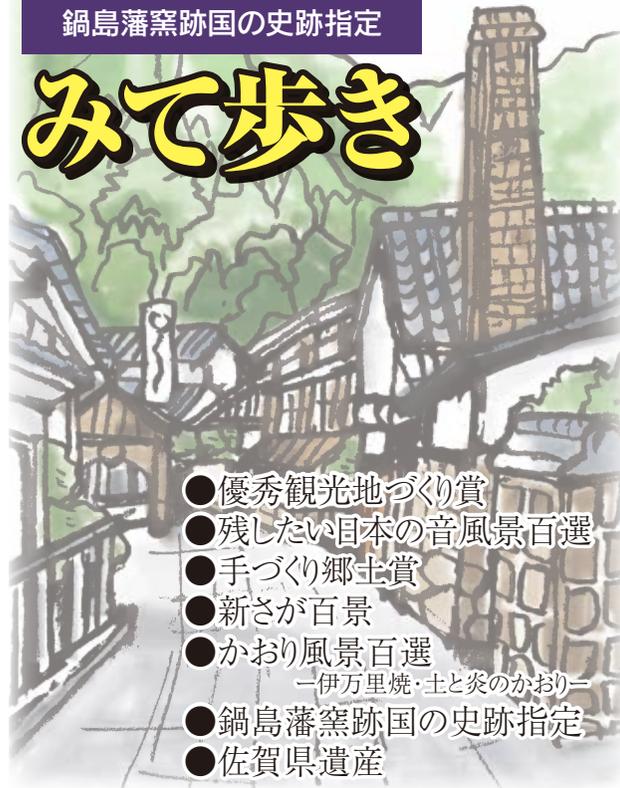
水くみ場

伊万里

秘窯の里・大川内山

鍋島藩窯跡国の史跡指定

みて歩き



- 優秀観光地づくり賞
- 残したい日本の音風景百選
- 手づくり郷土賞
- 新さが百景
- かおり風景百選
—伊万里焼・土と炎のかおり—
- 鍋島藩窯跡国の史跡指定
- 佐賀県遺産

■大川内山の歴史

秘窯の里「大川内山」は、延宝3年(1675年)から廃藩置県(1871年)まで佐賀鍋島藩の御用窯が置かれていました。その藩窯では朝廷、将軍家や諸大名などへ献上する高品位な焼き物が焼かれ、これが世界の至宝「鍋島」と呼ばれております。

このような歴史を有する大川内山では、30数軒の窯元がその伝統、技法を現在の伊万里焼に受け継いでおります。

■窯元めぐり

三方を山に囲まれた“秘境”ムードあふれる大川内山は、別名“秘窯の里”として親しまれています。

まず目を奪われるのは、山水画にも似た切り立つ大屏風奇岩の景観です。

この地は、中国景德鎮の官窯の組織を模し鍋島藩の御用窯が置かれたところで、レンガ造りの煙突や窯元が立ち並び、今なお300有余年の歴史と伝統が息吹いています。

■鍋島藩窯公園

秘窯の里・大川内山の窯元群と隣接した丘陵地に歴史文化遺産と憩いの施設がある公園です。

鍋島藩窯として栄え、300有余年の歴史を誇る「伊万里焼」のすべてがこの公園の中に甦り、歴史を感じさせてくれます。

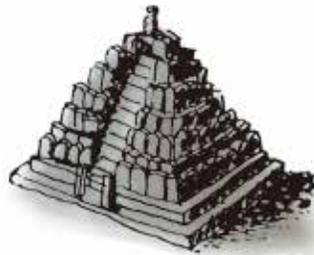


主な施設

- 陶工の家 ● 御細工場 ● 古窯跡
- 大壁画 ● 休憩所 ● やきもの広場
- 展望広場及び展望台 ● 関所
- 東屋 ● 陶工の庭(陶臼・めおとしの塔(焼物の風鈴)・陶工橋)
- 四季の庭(花壇・東屋・トンバイ橋)

■陶工無縁塔

高麗人を始め、陶工の無縁墓標880余を集めてピラミッド型にした供養塔です。



■高麗人の墓

藩窯以前に渡来した陶工の墓で、山の高台に遙かな望郷にかられます。



■日峯さん

藩祖 直茂公が祀ってあり台石には藩窯の細工人31人の名前が刻まれており藩窯の組織がよくわかります。毎年11月1日にお祭りをします。

■登り窯

鍋島藩が、献上の品を焼かせていた“のぼり窯”を再現したものです。

現在では秋祭りの一つとして献上窯を窯元全員で焚き、献上儀式を行っています。



■伊万里・有田焼伝統産業会館

伝統的工芸品「伊万里・有田焼」を展示しています。

伊万里焼はこうしてできる!

- 成形** 口ワロ・鑄込みなどで形をつくる
- 乾燥** 天日で生製品の水分をとる
- 素焼** 焼成温度850℃~900℃で焼く
- 下絵付** 鉬物性絵具(コバルト・鉄)で絵付する
- 施釉** 石灰石・長石を細かく砕いた釉薬をかける
- 本焼** 焼成温度1,300℃で焼く
- 上絵付** 本焼したものに色絵をつけ800℃前後で焼き上げる
- 窯出し** 焼き上がった焼物を窯よりていねいに取り出す

●多くの工程を完璧に行ってようやく、ひとつの伊万里焼の誕生です。

伊万里焼の特徴

色鍋島

光沢のすぐれた白磁の肌に濃い染付と赤・緑・黄の三色を基調として、美しい上絵が描かれています。

鍋島染付

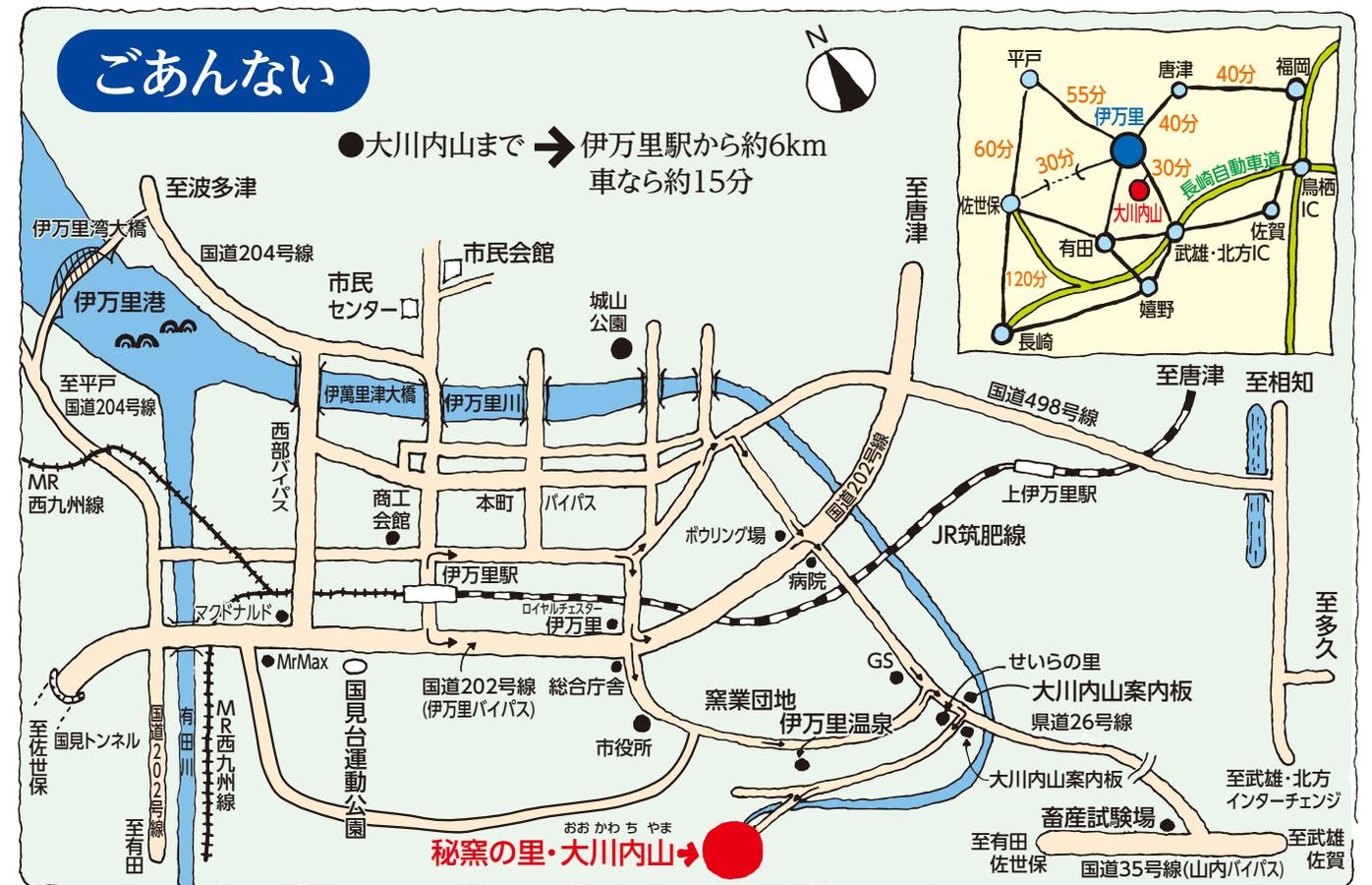
呉須の藍色で描かれており、色鍋島のあでやかさと異なりおちついた雰囲気の色あいです。

鍋島青磁

青磁原石を細かく砕いた釉薬をかけて焼き上げたもので、自然の青翠色の光沢が神秘的な美しさをもし出しています。

鍋島と古伊万里

鍋島藩御用窯でつくられた焼物を鍋島と呼び、その伝統を受け継いだのが伊万里焼です。江戸時代から明治にかけて、伊万里・有田地方の焼物は伊万里港から積み出され、伊万里の地名は焼物の代名詞として呼ばれていました。その当時の焼物を古伊万里と呼んでいます。



●お問い合わせは

伊万里鍋島焼会館

電話 0955-23-7293

住所 〒848-0025 佐賀県伊万里市大川内町乙1806

FAX 0955-23-7294

http://www.imari-ookawachiyama.com 大川内山振興協議会